

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【公開番号】特開2019-47414(P2019-47414A)

【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-011

【出願番号】特願2017-171091(P2017-171091)

【国際特許分類】

H 0 4 R 3/00 (2006.01)

B 6 0 Q 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 3/00 3 1 0

B 6 0 Q 5/00 6 6 0 B

B 6 0 Q 5/00 6 3 0 B

B 6 0 Q 5/00 6 2 0 Z

B 6 0 Q 5/00 6 7 0 Z

B 6 0 Q 5/00 6 5 0 C

B 6 0 Q 5/00 6 5 0 D

B 6 0 Q 5/00 6 5 0 A

B 6 0 Q 5/00 6 6 0 Z

B 6 0 Q 5/00 6 4 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月21日(2019.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

超音波を同方向に出力するように構成された複数の超音波スピーカ(22A, 22B)と、

要求される音波の到達距離に応じた信号を表す距離信号を取得し、該距離信号が示す到達距離が大きくなるにつれて発音させる超音波スピーカが多くなるように、前記複数の超音波スピーカのうちの発音させる超音波スピーカを表す少なくとも1つの発音スピーカ(22A, 22B)を設定するように構成された発音設定部(17: S140、S150、S160)と、

前記少なくとも1つの発音スピーカに対して、該発音スピーカに超音波を出力させるための音波信号を提供するように構成された信号提供部(18: S150、S160)と、
を備え、

前記到達距離を短く設定する際に発音させる超音波スピーカの周囲を、前記到達距離を長く設定する際に発音させる超音波スピーカで囲んで配置される超音波出力装置(1)。

【請求項2】

請求項1に記載の超音波出力装置であって、

当該超音波出力装置を搭載する車両を搭載車両として、該搭載車両の走行速度を取得するように構成された速度取得部(17: S110)、

をさらに備え、

前記発音設定部は、前記距離信号として前記走行速度を用いて、前記走行速度が大きく

なるにつれて発音させる超音波スピーカが多くなるように、前記発音スピーカを設定するように構成された超音波出力装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の超音波出力装置であって、前記複数の超音波スピーカは、互いに隣接して配置されるように構成された超音波出力装置。

【請求項 4】

超音波を同方向に出力するように構成された複数の超音波スピーカ（22A，22B）と、

前記複数の超音波スピーカが搭載された車両の走行速度を取得するように構成された速度取得部（17：S110）と、

前記走行速度を用いて、前記走行速度が大きくなるにつれて発音させる超音波スピーカが多くなるように、前記複数の超音波スピーカを制御する発音設定部と、
を備え、

発音させる超音波スピーカが少なくなるように設定する際に発音させる超音波スピーカの周囲を、発音させる超音波スピーカが多くなるように設定する際に発音させる超音波スピーカで囲んで配置される超音波出力装置。

【請求項 5】

超音波を同方向に出力するように構成された複数の超音波スピーカ（22A，22B）による発音を制御する制御装置（10）が実行する発音制御方法であって、

要求される音波の到達距離に応じた信号を表す距離信号を取得し、該距離信号が示す到達距離が大きくなるにつれて発音させる超音波スピーカが多くなるように、前記複数の超音波スピーカのうちの発音させる超音波スピーカを表す少なくとも 1 つの発音スピーカを設定する発音設定工程（17：S140、S150、S160）と、

前記少なくとも 1 つの発音スピーカに対して、該発音スピーカに超音波を出力させるための音波信号を提供する信号提供工程（18：S150、S160）と、
を実施し、

前記発音設定工程では、前記到達距離を短く設定する際に発音させる超音波スピーカの周囲が、前記到達距離を長く設定する際に発音させる超音波スピーカで囲まれるように設定される発音制御方法。

【請求項 6】

車両に搭載され、超音波を同方向に出力するように構成された複数の超音波スピーカ（22A，22B）の発音制御方法であって、

前記車両の走行速度を取得し、

前記走行速度が大きくなるにつれて発音させる超音波スピーカが多くなるように前記複数の超音波スピーカを制御し、かつ、発音させる超音波スピーカが少なくなるように設定する際に発音させる超音波スピーカの周囲を、発音させる超音波スピーカが多くなるように設定する際に発音させる超音波スピーカで囲まれるように設定する

超音波スピーカの発音制御方法。